

# 文京町キャンパス美化通信

文京町キャンパス美化通信第41号  
(発行日) 令和3年4月26日  
(発行) 施設環境部  
(E-Mail) bika-staff@hirosaki-u.ac.jp



桜餅の独特な香りは、葉に含まれるクマリンという芳香成分によるものらしいよ♪



## ◆春ですぞ

キャンパス内の桜が満開を迎え、心躍る季節となりました。最近の強風もあり、花卉が散っているところも多く見られますが、同時に若葉が顔をのぞかせていますね。

花卉の紅色系の発色はアントシアニンという色素によるものだそうです。開花から散るまでに花卉の色の変化があるそうですので、そちらも楽しみですぞね。

## ◆今週の投稿<学務部より>

色々な草花が一斉に芽吹き、春らしくなってきました。その中で「土筆(つくし)」が一斉に生えてきております。昔はフキノトウと同様に、つくしは天ぷらや佃煮にしていたのですが、実はこれ、美化通信第5号にもある「スギナ」の孢子茎と呼ばれるもので、難防除雑草です。皆様、気が付いたら雑草駆除と美味しい食材の確保との一石二鳥で「つくし」を積極的に取りましょう！

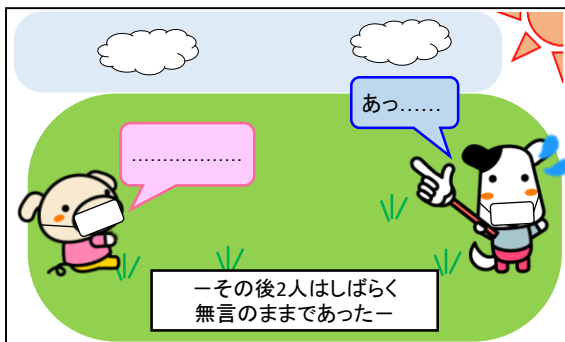
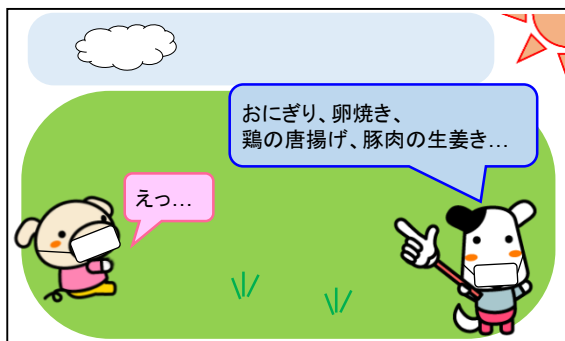
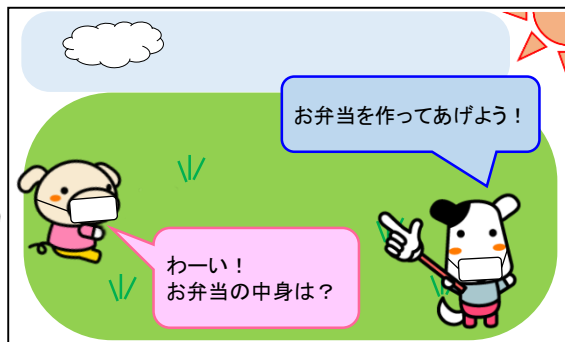
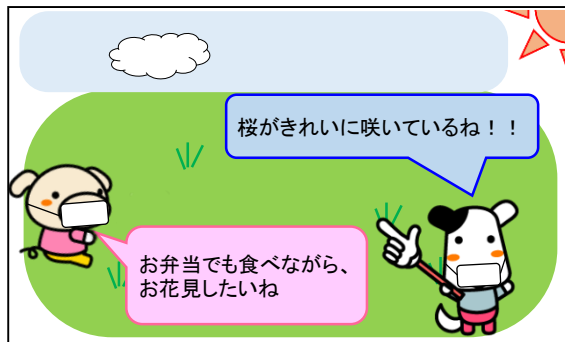
今週は土筆についての投稿をいただきました。誠にありがとうございます。今後もお待ちしております。



写真の土筆は第一体育館裏に生えていたよ♪



## プタ君とイヌ君(第40話)



## ◆今週の樹木タイムトラベル(第12回)

今回ご紹介するのは、50周年記念会館前の「リュウキュウツツジ」です。名前の由来は、琉球(沖縄)を經由して広まった説がありますが、ツツジの中では耐寒性が高く、北海道でも南部であれば栽培できます。

開花は4月下旬~5月で、直径5~6センチの白い花が咲きます。また葉に特徴があり、春葉と夏葉で形が変わります。春葉は先が尖り、夏葉は丸みも帯びた葉がつかます。

「リュウキュウツツジ」は江戸時代から庭木として栽培されている、歴史あるものなので、開花したら是非観賞してみてください。

2004年の様子

2020年の様子



## ◆今週も大募集(期限なし!)

開花情報、雑草情報、インシデント、うんちくなどなど、皆様からのリアルガチな情報を常時募集しています。

[bika-staff@hirosaki-u.ac.jp](mailto:bika-staff@hirosaki-u.ac.jp)

メールよろしくお願ひします!